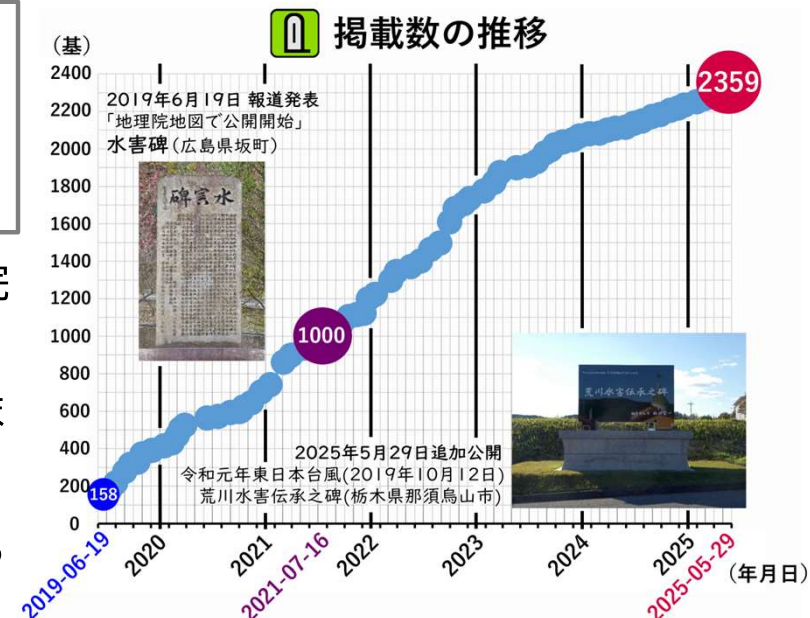


(参考)自然災害伝承碑の取組について

資料3

自然災害伝承碑とは、過去に発生した自然災害(地震、津波、洪水、土砂災害、高潮、火山災害等)の様相や被害状況等が記載されている石碑やモニュメントです。

- 国土地理院では、自然災害伝承碑の情報をウェブ地図である地理院地図や重ねるハザードマップ等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指しています。
- 令和元年6月の掲載開始以来、市区町村による申請や関係機関からの情報提供等により掲載数を着実に増やし、現在(令和7年5月)、47都道府県662市区町村の2359基が掲載されています。



自然災害伝承碑の例

水害碑		東日本大震災 羅漢大津波伝承の碑	
概要		概要	
碑名	水害碑	碑名	東日本大震災 羅漢大津波伝承の碑
災害名	洪水・土砂災害 (1907年7月15日)	災害名	明治三陸地震 (1896年6月15日) 昭和三陸地震 (1933年3月3日) 東日本大震災 (2011年3月11日)
災害種別	洪水・土砂災害	災害種別	地震・津波
建立年	1910	建立年	2017
所在地	広島県安芸郡坂町小原浦 四丁目	所在地	岩手県下閉伊郡田野畑村 羅漢27-2
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日連続した豪雨により天地川や総瀬川で土砂災害が発生した。この未曾有の大災害により、小原浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。 関連外部サイトへのリンク先	伝承内容	2011年3月11日午後2時46分突然激しい地震に襲われ、3時25分頃に大津波が、その波が引かないうちに第2波が襲ってきた。羅漢地区での死者・行方不明者8名、流失損壊家屋127戸(166戸中)。「津波を甘くみないでより早く、より高い所へ逃げる事」。明治29年(1896)と昭和8年(1933)の津波記念碑も隣に修設されている。
制限事項		制限事項	
ID:034309-002		ID:03484-001	

水害碑(広島県坂町)

明治三陸地震、昭和三陸地震、東日本大震災の津波伝承碑(岩手県田野畑村)

ウェブ地図で自然災害伝承碑を見る



地理院地図



重ねるハザードマップ

都道府県別の掲載基数(2025-05-29時点)			
都道府県名	基数	都道府県名	基数
北海道	48	滋賀県	31
青森県	21	京都府	40
岩手県	163	大阪府	28
宮城県	89	兵庫県	103
秋田県	23	奈良県	31
山形県	11	和歌山県	98
福島県	68	鳥取県	16
茨城県	43	島根県	31
栃木県	43	岡山県	43
群馬県	51	広島県	100
埼玉県	60	山口県	31
千葉県	52	徳島県	71
東京都	55	香川県	19
神奈川県	99	愛媛県	19
新潟県	54	高知県	102
富山県	16	福岡県	22
石川県	14	佐賀県	51
福井県	12	長崎県	27
山梨県	28	熊本県	77
長野県	104	大分県	23
岐阜県	52	宮崎県	13
静岡県	75	鹿児島県	35
愛知県	76	沖縄県	8
三重県	83	合計	2,359



自然災害伝承碑の取組について:

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>